

ウィズコロナ社会での地方創生

兵庫大学副学長 田端 和彦

1.新型コロナウィルスの特徴

新型コロナウィルスは感染力の高い未知のウィルスであり、高齢者など重症化リスクのある方が存在することなどの特徴が指摘され、それがもたらす影響はどのような事柄であるのかを確認したい。

2.社会経済の変化と地域

新型コロナウィルスによる社会経済の変化とはどのようなものか。集積による都市部での経済成長や密接による付加価値の向上（観光など）への影響が大きい。新しい働き方による都市から地方への住民の移動はどうなるのか。

3. ウィズコロナ社会の地方創生

地方創生は人口分散を企図した国土総合計画。しかし過去の計画では人口分散は進まず。ウィズコロナにおける人口分散は歪な分散をもたらすことにならないか。

	想定される内容	首都圏/大都市圏	地方圏
まち	財政状況	○財政的余裕がある	●財政的余裕はない
	地域コミュニティの存続	●地域での無縁化の進展。寂寥感	●自治会の継続が困難に
	ICT化の推進	○人口が密集し投資効果が大きい	○利用に伴う混雑が少ない
	社会的排除の可能性	●SNSでの攻撃、メディア攻勢	●自粛警察、近隣の視線
	イノベーションの可能性	○競争があり機会も多い	●機会が少なく、偏在も懸念される
	感染の拡大	●感染速度が早くロックダウンも	○クラスターの発生のみ注意
ひと	リモートでの教育の拡大	○人材、ノウハウの地方への提供	●地方の大学の衰退、単純化
	医療資源の確保	●備える規模が大きく人材不足も	●確保困難地域も出現
	コミュニケーションの変化	●コミュニケーション力の低下	●密接なコミュニケーションに影響 ○大都市圏との情報格差の低下
	子育て世帯の移動	●近郊都市に流出の可能性	○価値を同じくする人の流入
しごと	リモートオフィスの進展	○通勤手当減少で地価の安い近郊の居住者の拡大(分散化)	●東京の企業が地方の仕事へ参入 ●地方企業の人材確保が困難
	ジョブ型雇用への転換	○フリーエージェントの仕事が多い	○ゆとり時間を生活の豊かさに転換
	移動の制限	●ツーリズム、運輸業への悪影響	●観光に依存する地域の衰退
	経済の低迷	●集積・密接での生産性向上が困難	●新たな経済的な価値創造が困難